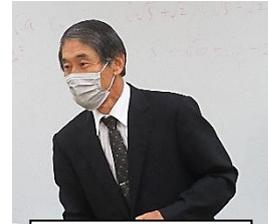




学習会 専門性の向上に向けて

若い先生方（町単，組合単，期採，代替職員）を対象に学習会（5/14，5/21，5/28）を開催しました。

今回の講師は古屋賢一先生と渡辺幸之助先生。お二人の先生は河口湖北中学校



古屋賢一先生



渡辺幸之助先生



を最後にご退職されましたが、現在も教育の現場でご活躍されています。教師としての心構えや勉強方法など、専門性の向上を図るうえで大変貴重なお話をいただきました。参加者に様々な気付きを与え、さらなる学びへの意欲を高める機会となりました。

参加者の真剣なまなざしに、教師として大きな一歩を踏み出していこうという強い決意を感じました。

研修会

特別支援教育支援員という仕事について



石井めぐみ先生



今澤真治先生

どの子にも適切に指導・支援することが求められていますが、子どもの抱える問題が多様化し、深刻化する傾向が見られ、担任だけでは十分な指導・支援を行うことは非常に困難な状況が出てきています。そこで、一人一人の教育的ニーズを把握し、子どものもつ力を高め、学習や生活における困難さを改善するために教員の補助として支援員が配置されるようになりました。財政が厳しい状況ではありますが富士河口湖町では学校現場に町単教諭17

名と支援員21名が配置されています。有難いことです。

今回の研修会では、支援員という仕事について、ふじざくら支援学校の石井めぐみ先生と富士河口湖町学校教育課就学相談員の今澤真治先生に講師を務めていただきました。



参加者の感想

- 子どもとの関わり方についてもとても勉強になりました。わかっているつもりでも改めて日々の自分を振り返ってみようと思いました。より良い関係が気づけるようになるといいなと思います。
- 今澤先生のお話はとても楽しく聞け、ためになりました。すごく興味をもてる話ばかりでした。
- 支援員の役割を再度確認することができ、自信がもてました。
- 見えない部分が大事という言葉が心にしみました。
- 今日の研修会に参加して、自分がとるべき行動や支援 対象の子にしてあげられることを学びました。
- 石井先生の講演をととても楽しみにしていました。今後に生かせることばかりでした。
- 今澤先生の言葉一つ一つを聞き、教育現場のすべきことの多さ、重要性、管理職のリーダーシップ、マネジメントの影響力について改めて考えさせられました。
- 一人一人に合わせた支援。全員、同じではない。他の子と比べない。一人一人の興味や関心を大事にする。資料や良いアドバイスをいただきました。ありがとうございました。
- 石井先生の資料は大変分かりやすく参考になり、とても良かったです。今澤先生のお話もとても良かったです。
- 前回の研修会でも石井先生の講演を聞かせていただきましたが、また、この2年間の経験や現在の様子を振り返りながらお聞きすることで、改めてたくさんのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。
- 子どもたちの言動や行動だけでなく目に見えないところも想像しながら今後も支援員としてやっていけたらと思います。

参加者からこのような感想が聞かれ、大きな成果を感じる研修会となりました。

前述した通り、多様な子どものニーズに的確に応えていくためには教員だけでは限界があります。学校現場において町単教諭・支援員の皆様は欠くことのできない存在になっています。

リモート児童総会 河口小学校

例年は一堂に会して行ってきた児童総会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大に配慮してリモートを活用して行いました。3年生から6年生までの各教室に大型スクリーンをセットして、各学年が活発に意見交換を行い、今年度の活動方針を決定していきました。

例年とは違うリモートでの児童総会でしたが、いざ始めるとそんなことは少しも感じさせず、堂々と発表する姿がありました。いよいよ本格的に児童会が動き出します。河口小児童全員でテーマ達成に向けて頑張ってもらいたいと思います。

